

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	胃がんリスク検査			事業番号	011-189
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		平成 28 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		35歳～49歳の市民 (約4.8万人)			対象数	単位
						約48,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査により、胃がん発生のリスクを調べる検査を実施。 受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 検査内容 ・問診 ・血液検査 (ピロリ菌の有無、胃の萎縮度の判定) ・自己負担金：無料 (令和4年度まで) 検査の結果により、要精密検査となった方には精密検査を案内している。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		一般社団法人堺市医師会				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	受診者数		人	目標値	2,600	3,197	3,197	3,197
				実績値	2,870	2,152		
			達成率	110%	67%			
当該指標を選定した理由		胃がん発生のリスクを把握し、市民の健康の保持増進を図るため。						
目標値の設定根拠・算出方法		前年の実績値を上回る目標値とする。令和5年度は令和4年度に引き続き同じ目標値とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実施医療機関数		カ所	目標値	198	198	198	
				実績値	198	198		
			達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。						
目標値の設定根拠・算出方法		市内検診実施協力医療機関数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	胃がんリスク検査	事業番号	011-189
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	13,443	15,055	13,310	11,520	23,722
13 財源内訳	国支出金		0		0
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ()		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	13,443	15,055	13,310	11,520
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	14,263	15,875	14,130	12,340	24,532

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	胃がんリスク検査	R4 決算	11,249	11,249		R4	決算	
		R5 予算	23,333	23,333		R5	予算	
	印刷製本費	R4 決算	237	237		R4	決算	
		R5 予算	316	316		R5	予算	
	通信運搬費	R4 決算	0	0		R4	決算	
		R5 予算	26	26		R5	予算	
	手数料	R4 決算	34	34		R4	決算	
		R5 予算	47	47		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 受診者数	人	2,870	2,152
② 上記①にかかる年間経費	千円	15,875	12,340
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	5,531	5,734
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度より、40～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間の1回と対象年齢を拡充し、自己負担金無償化の影響もあり、令和元年度（1,813人）から令和3年度にかけ受診者が増加したが、令和4年度は受診者数が減少した。 対象市民に向けた胃がん検診リスク検査の必要性の理解や検診制度のさらなる周知が必要。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>検診体制を整え、身近な医療機関での検査が可能となり、検査を希望する市民の受診が達成できている。 また、全国的に胃がんの罹患数及び死亡数は減少傾向にあり、対象市民の胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんの早期発見・早期治療につなげることで、健康寿命の延伸に寄与していると考えられるが、依然部位別のがん死亡数（2020年）では胃がんが男性で第2位、女性で第5位となっておりさらなる取組が必要。 今後も、ICT(SNS等)や企業連携等を活用した多種多様な手法で啓発や受診勧奨を実施し、胃がんリスク検査の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数向上に向けて取り組む。</p>
----	---